



第012号
平成27年
3月4日発行

議員活動報告
新潟県議会議員 **小島義徳**

- もくじ**
- (1) 聴いて! 視て! つないだ! 4年間
 - (2) 小島義徳が4年間をつないだ100超実績
 - (3) 2月定例会の私の一般質問の要点
 - (4) 平成26年度補正、27年度当初予算案概要

聴いて、視て、つないだ4年間

二期目の県政活動もまもなく4年が経ちます。この間、特に社会資本整備や産業振興、地域医療、福祉や教育の充実に心血を注いで参りました。地域の皆様の声を聴き、すべて現場を目で視て課題解決に取り組んだ4年間、皆様より100を超える社会資本整備をはじめとする様々な要望を受け、その実現のために県政や市政につなげて来ました。

引き続き住民の皆様の声に聞き、皆様とともに、次代を担う子どもたちに責任の重なる街、だれもが安心して暮らせる街の実現を目指して県政活動に邁進して参ります。

益々のご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

平成二六年度補正予算の概要
当初予算 二九、一六五百万円

- 原子力防災対策費
- 感染症総合対策事業
- 新潟県農業構造改革支援基金積立金
- 森林整備加速化・林業再生交付金事業
- オリンピック選手育成事業
- その他

平成二七年度当初予算案の概要
当初予算案 一兆三〇一六億円

現在行われている二月定例会に上程されている平成二七年度当初予算案の主な内容について掲載

未来への投資

将来の人口増加や産業の育成、個を伸ばす人づくりの推進に向けた取組を強化するなど、未来への投資を積極的に行うなどの内容を現在審議中

◆人づくりへの投資

- 【少子化対策、子育て支援】
- 結婚を希望する方への婚活支援

- 少子化対策モデル事業の実施
- 子ども医療費の助成

- 【教育】
- オリンピック選手育成
- 少人数学級の推進
- 県立武道館(仮称)の整備

- 【医療】
- 新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院の開院・運営
- 若手医師の確保・定着の促進
- 特定診療科を希望する臨床研修医に対する奨学金貸与
- ドクターヘリの複数機導入
- 看護職員就業支援等の取組

◆産業分野への投資

- 【エネルギー等新産業分野】
- 本県の豊富な再生可能エネルギーの利活用
- 太陽光発電設備の建設
- 木質バイオマス安定供給推進
- 雪冷熱活用データセンターの立地支援
- 海洋エネルギー実証
- 電気自動車の使用済み電池の電池としての活用検討
- 県内企業の海外展開支援と対内直接投資の拡大
- メタンハイドレードの開発促進
- 【農業分野】
- 水稻晩生新品種デビュー戦略の推進

- 新潟米の輸出拡大に向けた取組
- 水田、水稻育苗ハウス等を活用した園芸の導入・拡大支援
- 温泉熱や雪冷熱等を活用した園芸
- 作物生産の確立

地方創生に向けた取組

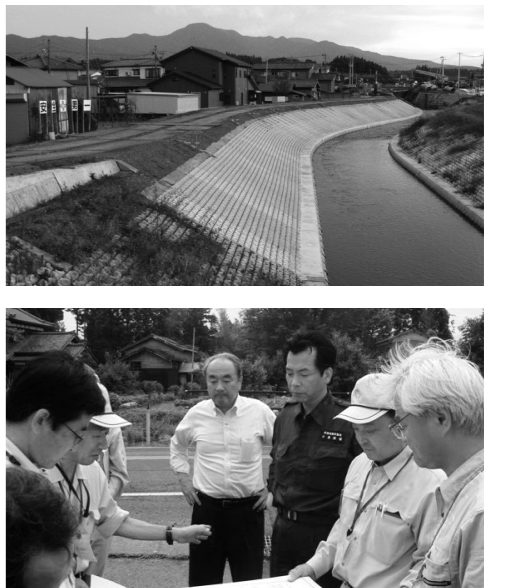
- ◆地方における安定した雇用を創出する
- 本県の産業構造の転換に向けた取組
- 地場産業の振興と地域産業の自立・活性化
- 魅力ある農林水産業と農山漁村の実現
- 観光、スポーツ、文化等を通じた交流の拡大
- 安定した雇用の場の創出・確保
- ◆地方への新しい人の流れをつくる
- 住みやすいふるさとづくりと暮らしやすさの発信
- 個をのばす人づくりの推進
- ◆若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 安心して子どもを産み育てる環境整備
- 防災立県の推進
- 安全・安心で快適な県民生活の確保

小島義徳事務所

〒959-1803 五泉市下条 84-1 ホームページ: <http://kojima-yoshinori.jp>
TEL 0250-47-4875 FAX 0250-47-4876 E-mail: kojima@prcoc.co.jp

小島義徳が4年間でつないだ100超実績 抜粋

- 平23・7・2 国道二九〇号線上野牧地内歩道整備要望 工事中
- 平23・8・1 太田川排水機場排水能力増設要望 完了
- 平23・8・2 新潟福島豪雨牧川流域災害復旧 工事中
- 平23・8・2 新潟福島豪雨阿賀野川流域災害復旧 工事中
- 平23・8・2 新潟福島豪雨阿賀町吉津地内廃棄物撤去要望 完了
- 平23・8・27 一級河川能代川上戸倉地内堤防護岸補修要望 完了
- 平23・8・27 県道五泉停車場・石曾根線木越荒屋地内側溝整備要望 完了
- 平23・9・5 主要地方道白根・安田線本町交差点早期改良促進要望 完了
- 平23・9・6 大沢川大蔵地内護岸保護改修要望 完了
- 平23・11・22 辻川中名沢地内伐木要望 完了
- 平24・2・20 県道新関・橋田・村松線寺本地内歩道整備要望 完了
- 平24・4・5 牧川南田中地内鉄橋改修要望 完了
- 平24・4・15 県道白根・安田線本町交差点改良整備促進要望 完了



- 平24・4・15 滝谷川整備改修工事促進要望 工事中
- 平24・4・15 主要地方道新津・村松線今泉地内交差点改良早期整備要望 完了
- 平24・4・15 荻曾根川月見橋早期改修要望 工事中
- 平24・4・15 荻曾根早期改修要望 工事中
- 平24・4・15 早出川暮坪地内河川護岸補修要望 完了
- 平24・4・18 県道下戸倉・五泉線千原地内側溝改良歩道整備要望 完了
- 平24・7・2 東南環状線早期整備促進要望 採択予定
- 平24・8・30 宮古川宮古地内伐木要望 完了
- 平24・10・21 五泉停車場・石曾根線木越荒屋地内側溝整備要望 完了

二月定例会の私の一般質問の要点

- ◆農協問題
 - 農家組合員が求める農協
 - 中央組織は簡素に単協は充実すべし
 - 農協ならではの営農指導
 - 県普及所と農協営農指導の役割
 - 農協の大量調達メリットを組合員へ積極的な輸出で国内米価を守る
- ◆農家所得の向上を
 - 大規模営農の環境整備を
 - 複合営農で所得向上
 - 六次産業化で付加価値向上
 - 兼業農家も販路確保で所得向上
 - 農地・宅地資産を活かす所得向上を
- ◆中山間地の生活を守る
 - カーボンオフセット制度の普及促進
 - 冬季間の雇用促進策
 - 林道・作業道の整備促進
 - 木質バイオマス発電の普及促進
 - 森林資源の活用促進
- ◆県水力発電利益を再生可能エネルギー促進へ
 - 平成二七年度の利益処分法について
 - 果実を木質バイオマス発電等の普及促進に活用せよ
 - その他

実現された私の提案

ちょうど一年前から建設公安委員会の企業局に、県の水力発電事業について質問を続けてきた。

県の各水力発電所の電力を平成二六年度まで東北電力に七・六七円/kWで販売してきているが、二七年度からは入札制度に移行し高い単価で販売すべきと提案してきた。昨年十二月の一般競争入札により平成二七年度から平均約十六・二円/kWで販売が決定された。

このことで平成二六年度の売上見込約四億円から二七年度予定売上額が八八億円に跳ね上がった。経費は変わらないため、利益が二億円程度から一気に四九億円に膨らむ予定。この他に県直営の太陽光発電事業利益が加算される。

約五〇億円規模の利益をどのように活かすか。従来より利益の処分方法は基本的に減債積立金、建設改良積立金、地域振興積立金の三種類に分けて活用されてきた。減債積立金は企業債の償還に充当するための積立金、建設改良積立金は既存施設の増築・改良や新規の建設、これらに必要な資金を計画的

- 平25・3・22 主要地方道村松・田上線刈羽地内歩道整備要望 完了
- 平25・4・22 別所虚空蔵尊脇排水路整備要望 完了
- 平25・5・9 県道白山・村松線寺町地内歩道整備要望 工事予定
- 平25・10・16 国道二九〇号早出端地内舗装改良要望 完了
- 平25・11・11 橋田地内住宅裏土砂崩れ対策要望 完了
- 平26・3・4 主要地方道新津・村松線本町二丁目道路舗装要望 完了
- 平26・3・31 県道新潟・五泉間瀬線整備要望 工事中
- 平26・6・19 県道白山・村松線寺町地内県道舗装修理要望 完了
- 平26・7・22 三平川笹堀地内体積土砂掘削要望 完了
- 平26・8・11 国道二九〇号線南田中地内歩道安全柵改修要望 完了
- 平26・8・11 滝谷川春日町地内床止め改修要望 完了
- 平26・10・20 主要地方道村松・田上線中野橋地内信号機改良要望 改良予定
- 平27・1・8 県道新潟・村松・三川線愛宕地内横断歩道新設要望 工事予定
- 平27・1・30 県道下戸倉・五泉線町屋地内側溝安全対策要望 完了
- その他

に確保するための積立金、地域振興積立金は公営企業本来の目的である公共の福祉の増進に寄与するため電気事業の健全経営を確保し、その利益の一部を県民に還元するための積立金として活用されてきたのだ。

いずれにせよ再生可能エネルギー事業によって生まれた利益である。電力の市場価格は将来的には安くなっていく見通しであるが、当面は大きな利益を得られるであろう。

発電事業利益を県内の再生可能エネルギーの普及促進に活用すべき

発電事業から生まれる利益を県内の再生可能エネルギーの普及促進に活用すべきである。森林を保有する地域には、バイオマス発電事業の支援に発電事業の利益を活用して地域の雇用と環境保全に活かすべき。

農家の所有地を一時転用等で太陽光発電を普及させ農家所得の向上と安定化を図るべき。このことを本二月定例会をはじめ随時、新潟県企業局並びに泉田知事に提案して実現を目指します。